

CDP企業調査における「気候変動」 「水セキュリティ」の分野でA-スコアを獲得

株式会社東海理化（本社：愛知県丹羽郡大口町 代表取締役社長：二之夕 裕美）は、国際的な環境非営利団体であるCDPが実施する企業調査において、「気候変動」および「水セキュリティ」の2分野で、A-の評価を獲得しました。当社がA-スコアを獲得するのは両分野において初となります。

CDPとは、2000年に発足した英国の非営利団体（NGO）で、企業や自治体を対象に環境への取り組みを評価し、環境情報の開示を行っています。2024年には、24,800社（世界の時価総額の3分の2に相当）を超える企業が回答に応じています。スコアは8段階（A、A-、B、B-、C、C-、D、D-）で構成され、当社の評価であるA-は「リーダーシップレベル」に該当し「活用する戦略と実行する行動がベストプラクティス（最適な方法）を実践している」と評価されたことを示しております。



当社は2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにする目標を設定し、そのマイルストーンとして「カーボンニュートラル戦略2030」を策定し、製品、生産、調達、物流の4つの戦略を軸に、ライフサイクル全体での活動を進めています。また、「カーボンニュートラル戦略2030」の目標達成に向け、短期計画として「第7次環境取り組みプラン」を策定し、CO₂排出量、再エネ率、水の取水量などの目標を設定し、目標達成に向け全方位で取り組みを進めています。

今後も、持続可能な社会の実現に向け、環境に配慮した事業活動を推進してまいります。

【当社の環境への取り組み】

<https://www.tokai-rika.co.jp/sustainability/environment/>

【本件に関するお問い合わせ先】株式会社東海理化 総務部広報室（0587-95-5211）